



会長 楠 英夫 幹事 楳戸 憲一

- 例会場 L'AUBE kasumigaura
TEL.029-875-8888
- 例会日時 火曜日 12:30~13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-south-rc.com>
- Eメール t_minami@lapis.plala.or.jp

2023~2024年度
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう

2023年11月14日 15号
2023年11月7日 第1例会報告



地区 HP



地区行事予定

- | | | | |
|----------------------------------|---------|---------------|-----------------|
| 1. 点 鐘 | 楠英夫会長 | 7. 委員会報告 | |
| 2. 国歌及びロータリーソング斉唱
(君が代・奉仕の理想) | | 8. ニコニコBOXの発表 | 吉田副SAA |
| 3. ご来訪ロータリアン紹介 | | 9. 会員卓話 | 「ロータリー財団月間に因んで」 |
| | 親睦活動委員会 | | 片岡信彦パストガバナー |
| 4. 会長挨拶 | | 10. 出席状況報告 | 出席委員会 |
| 5. 幹事報告 | | 11. 点 鐘 | 楠英夫会長 |
| 6. 今月お誕生日の会員及び配偶者の紹介 | | | (司会進行：山口裕由SAA) |
| | 親睦活動委員会 | | |

本日のプログラム

地区クラブ奉仕・IT委員鈴木昌実様(つくば学園RC)より、「公共イメージ」について出前卓話を伺います。

次週のプログラム

11月21日(火)の例会は、地区クラブ奉仕・クラブサポート委員 和泉好一様より、出前卓話を伺います。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席訂正率
名	名	名	%	卓	卓	名	%
88	60	7	70.67	2・3・14	7・15・16・17	8	79.07

【会長挨拶】

楠 英 夫 会 長



大家好。

大甲ロータリークラブの50周年式典へ参加してきました。

10月は、ガバナー公式訪問もあり行事が短期間で重なり手一杯の状況であったこともあり、例会開催にあたっては皆様にご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

大甲ロータリークラブ訪問の際に、稲野邊パスト会長の時に書籍を寄贈した台中の永安小学校を訪問しました。太鼓や龍の舞などで子供たちが歓迎してくれました。50周年記念行事では、会長挨拶があり、かなりのプレッシャーでしたが何とかやれたと思っています。

11月は特に大きな行事はないので、しっかり例会を開催致します。

12月には、クリスマス会、タイのパトムワンロータリークラブの40周年記念行事の参加などがあります。

ここまでは、クラブの重要な行事を実行するのに手一杯なところがありましたが、重要な行事も7割以上が終わった感じですので、そろそろ会長として自分のカラーを出して行こうと思っています。

例会については、檜戸幹事・山口S A Aが例会の進行・楽しい雰囲気作と考えて頂いております。また、卓話については米山委員長が充実した内容になるよう考えて頂いております。出席して良かったと思って頂けるような実のある内容で開催したいと思います。

今後も、皆様のご協力・ご支援が必要です。残り8ヶ月ですがよろしくお願い致します。

以上、11月の会長挨拶とさせていただきます。

【委員会報告】

ロータリー財団委員会

清 野 宏 之 委員長

11月はロータリー財団月間です。本日、各卓に財団寄付の申し込み用紙を配布させて頂きました。年次寄付お一人170ドルとポリオ寄付30ドル以上をお願い致します。また今日は、片岡パストガバナーにロータリー月間に因んでの卓話を頂きます。また例会後に、大久保ガバナーがポリオについて、ポリオ国別の歴史を皆さんに知って頂きたいということもありまして、茨城新聞社の取材を受け今月中に新聞記事にして頂く事になりました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

米山記念奨学会委員会

稲 野 邊 穰 委員長

先程、ロータリー財団寄付の案内もございましたが、米山記念奨学会の特別寄付金の申し込みも受け付けております。ご協力の程、どうぞ宜しくお願い致します。

親睦活動委員会

阿 部 彰 委員長

今日のレターボックスの中にクリスマス家族懇親会のご案内をさせていただきました。これは12月19日の火曜日6時からこちらのロビーで開催させていただきます。家族の参加も大歓迎とさせていただきますので今月の11月末までにご記入の上提出をよろしくお願いいたします。

雑誌委員会

磯 山 貴 洋 副委員長

雑誌委員会よりロータリーの友11月号の見どころについてご紹介させていただきます。まず5ページ、IR会長メッセージ、今月、国際ロータリーとロータリー平和センターの調印、平和構築の取り組みについてのメッセージ、またロータリー月間の特集記事にグローバル補助金の内容といった基本的な情報から、世界各国あるいは日本国内の具体的活用事例について紹介されております。先日訪問した台湾のロータリークラブでは、2021年の干ばつ疑惑から、水資源の保全あるいは貴重な雨がやむなどの生態保護活動を行っている紹介記事が掲載されております。世界インターアクト週間の特集記事、シンガポール国際大会の記事、財団管理委員長からのメッセージ、その他様々な記事がございますので、是非ごロータリーの友を一読ください。

雑誌委員会

齊 田 克 史 委員長

雑誌委員会の方から1点だけ報告がございます。先日のガバナー公式訪問の際、大久保ガバナーからロータリーの友と同時に今年度 月信の方に力を入れるというメッセージを頂いておりますので、毎月の月信を通して地区の活動内容を皆さんに理解頂きたいの事です。宜しくお願い致します。

【卓 話】

ロータリー財団月間に因んで

片 岡 信 彦 パストガバナー



今月は、ロータリー財団特別月間ですが、清野財団委員長からポリオ・プラスを中心に、財団について話してほしいと頼まれました。最近では、皆様の前で卓話をするチャンスがありませんので自己紹介を少しさせていただきます。

私は、会長になる前は地区のインターアクト委員会の委員長など4年、ロータリー財団の委員長を3年務め青少年畑を歩んできました。2000年6月会長を終わり、青少年総括委員長の時にガバナーノミニーに選出されました。そして2002-2003年度ガバナーを務め、2004年度からRRFCロータリー財団地域コーディネーターを3年務めました。そして2007年からロータリー財団の恒久基金日本委員会の委員を3年間勤めましたので財団関係を6年経験しました。そして、2013年よりロータリー財団は今のプログラムになりなりましたが、プログラムを理解するために地区の財団未来の夢計画委員会の委員長を3

年間勤めました。また地区の財団監査委員長として10年間勤めております。2010年からはロータリーの友委員会に副委員長2年、委員長2年、特別顧問と14年携わっております。

この間に田中作治元国際ロータリー会長とは不思議な縁がありました。最初にRRFCに推薦くださったのは田中作治元会長と山形県鶴岡RCの前任のRRFC藤川享胤PGでした。そしてRRFC2年目、3年目のアメリカ研修には財団の管理委員となった田中元会長と同行しました。その後恒久基金日本委員会の委員を3年間一緒に活動しました。そして田中元会長が会長の時私はロータリーの友委員長の役職にあり、友誌に掲載するためインタビューということでアメリカ本部に訪問いたしました。

ロータリー財団については一昨年高橋信子会員が出前卓話をされましたが、今まで聞いた中で最もわかりやすく簡潔でよく勉強しているなど感心して聞かせて頂きました。私は財団に携わったのは15年も前で古い知識となりますが精一杯話をさせていただきます。

財団月間ですのでロータリー財団の歴史から話をしたいと思います。

1917年財団の父と言われるアーチ・クランフ国際ロータリー会長がアトランタの国際大会で運営手法の改善が私たちに求められるとして「世界で良いことをするために」基金の設置をしました。最初は26ドル50セントに過ぎませんでした。最初はロータリー基金と称し、1928年にロータリー財団と改名しました。そして1983年に米国イリノイ州法の元、非営利財団法人となりました。

1947年財団設立30年目にロータリーの始祖ポール・ハリスが亡くなると募金活動が始まり1年半で100万ドルが集まり本格的に財団の活動が始まりました。リーダーの育成が目的で奨学金など教育的プログラムが中心で、特に国際親善奨学金として知られることになりました。第2回の奨学生に国連難民高等弁務官を務められた緒方貞子さんがおります。緒方さんは後に私はロータリーの支援を受け留学しましたがあの経験がなかったら国際貢献の道は歩まなかったと話しておられます。本日配布されたロータリーの友11月号のスピーチに緒方さんについて語られています。

続いてグローバルな人道的奉仕が始まり1965年補助金プログラムとしてマッチング・グラントが始まりGSE研究グループ交換事業が始まりました。1978年保険・飢餓追放・人間性尊重の(3H)補助金が始まりました。1979年にフィリピンにおいて3H補助金でポリオワクチン投与が始まりました。国際ロータリーは壮大な目標として1985年にポリオ・プラスへの参入を決定し行動を開始しました。1988年WHOはポリオ根絶を目標に掲げました。

1999年に平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリーセンター現在の平和センターの設立を承認しました。ロータリー平和フェローの1期生は2002年に学業を開始しました。日本では国際キリスト教大学がセンターの1つになっています。

2004年25万ドル以上を財団に寄付した個人、夫婦、団体を認証する「アーチ・クランフソサエティ」が設立されました。2005年、2006年私はRRFCの研修でアメリカに滞在中にロータリー本部エバンストンでの初年度、2年目の日本人3人の表彰式に立ち会っています。国際ロータリーの会長、財団管理委員長などが参列していました。

続いてインパクトの重視と言うことで2013年ロータリー財団は地区補助金とグローバル補助金からなる簡略された補助金モデルを導入し、マッチング・グラント、国際親善奨学金、研究グループ交換プログラムを中止しました。

財団の仕組みを説明します。皆様からの寄付金は3年間本部で運用され、4年後に50%が

WF（世界活動資金）50%弱がDDF（地区活動資金）として配分されDDFの50%が地区補助金、50%がグローバル補助金に分けられます。地区補助金は地区財団委員会の監督の下社会奉仕、国際奉仕、奨学金、VTT（職業訓練チーム）に活用されます。グローバル補助金は7つの重点分野の範疇で活用されます。7つの重点分野とは特別月間の順で言いますと、7月が母子の健康、9月が基本的教育と識字率向上、10月が地域社会の経済発展、12月が疾病予防と治療、2月が平和構築と紛争予防、3月が水と衛生、4月が環境月間となっており11月がロータリー財団月間となっており12ヶ月の内実に8ヶ月が財団がらみの特別月間となっております。

ポールハリスソサエティーはアメリカの1地区が始まり私は2006年にアメリカで加入しました。その後RI理事会が実験を続け、2013年7月にポールハリスソサエティーが設立されました。

1年間で年次寄付・ポリオなどに1000ドル以上を寄付する会員が入会できます。当クラブでは今泉会員が尽力下さり10名が加盟しております。

2019年、財団はすでに成果を実証しているプログラムに資金を提供する「大規模プロジェクト補助金」を導入しました。この補助金の受領者は厳しい審査を経て選ばれ、ロータリーの重点分野において大規模なインパクトをもたらすプログラムを長期的に実施するための資金を会員に提供します。2021年初の大規模プログラム補助金の受領者としてマラリアのないザンビアのためのパートナーが選ばれました。

ポリオについて

1. ポリオという病気

これからは今日の本題であるポリオについて話します。ポリオ（急性灰白髄炎）は非常に感染症の高い病気で、特に感染しやすいのは5歳未満の子供です。日本では一般に「小児麻痺」と呼ばれることもあります。ポリオウイルスは人から人へと感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。神経系を侵すこともあり、これによって身体の麻痺を引き起こす可能性があります。治療法はありませんが安全なワクチンで予防が可能です。ロータリーとそのパートナー団体（WHO、ユニセフ、米国疾病予防管理センター、ビル・メリンダ・ゲイツ財団、ガビ）はこれまで25億人以上の子供にワクチンを投与する活動を行ってきました。

2. ドナー

1988年ワクチン投与開始よりロータリーとゲイツ財団はドナーとしてWHOユニセフを通じて70億ドル以上を投資して来ました。これらの貢献によりポリオ発生率は99.9%減少しました。

ポリオに対する資金投資の内容を見てみましょう。1985年から2002年までは先進7カ国1364百万ドル、ロータリー506百万ドルとロータリーが世界全体の4分の1を寄付し大健闘しています。1985年から2020年を見てもビル・メリンダ・ゲイツ財団が4221百万ドル、ロータリーが2161百万ドル、先進7カ国が6878百万ドル、世界合計で18095百万ドルとなっています。実に35%を両団体が占めています。

3. ポリオに関する事実

- ① ポリオに最も感染しやすいのは5歳未満の子ども
- ② 治療法はないがワクチンで予防が可能

- ③ 野生型ポリオウイルスの常在国はアフガニスタン・パキスタンのわずか2カ国
- ④ 1988年以來発症数は99.9%減少
- ⑤ ポリオを永久になくさない限り感染リスクは世界の子どもに

4. ポリオに関する歴史

1894年 米国史上記録に残る初の大流行。バーモント州18人死亡12人麻痺症状。

1905年 スエーデンの内科医オットーがポリオは人から人に感染する病気であり症状のない人もポリオにかかっている可能性を指摘する。

1916年 ニューヨーク市でポリオ大流行2000人が死亡。米国全土で6000人が死亡、数千人がまひ障害になる。

1939年 鉄の肺という人工呼吸器を発明する。

1960年 経口ワクチンが米国政府から認可される。

ここからロータリーが関与します。

1979年 フィリピンの600万人の子どものためにワクチンを購入、輸送するプロジェクトがロータリークラブにより開始される。

1985年 国際ロータリーが民間による国際的な公共保健イニシアチブ（主導権）としては史上初かつ最大規模となる「ポリオ・プラス」を開始する。当初の募金目標は1億2000万ドルでした。当クラブの小竹パストガバナーが1986-7年にガバナーを務めましたのでちょうどその時期に最初の募金が始まりました。高橋信子会員の父上安次会員が責任者として募金活動をしたことを思い出します。

1988年 国際ロータリーとWHO ユニセフ、米国疾病予防管理センターが世界ポリオ撲滅推進活動に立ち上がる。当時のポリオ症例数は125カ国35万件以上が報告されています。

1994年 アメリカ大陸からポリオが撲滅されたことを発表されました。

1995年 中国とインドでわずか1週間、1億6500万人の子どものためにワクチンが投与される。

2000年 5億5000万人という記録的な数の子どもたちに経口ワクチンが投与される。

オーストラリアから中国に亘る西太平洋地域でポリオ撲滅が宣言される。これは京都宣言と言われ日本の新聞が大々的に報じたので日本ではポリオは全世界で撲滅されたと勘違いされました。

2003年 私がガバナーをしていた時期です。3年誓約で一人150ドルの募金活動が始まりました。当地区ではパストガバナー、ガバナー補佐に準ガバナー公式訪問として各クラブを訪問していただき潮来RCの3年誓約を除き全クラブが1年で目標を達成しました。全世界で1億1900万ドルの募金に成功しポリオ撲滅へのロータリーからの寄付が5億ドルを超えました。この時点でのポリオの常在国はアフガニスタン、エジプト、インドニジェール、ナイジェリア、パキスタンの6カ国となりました。

2004年 アフリカ23カ国で8000万人の子どもの対象に一斉に全国予防接種日を実施されました。

2006年 常在国はアフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタンの4カ国となりました。

2009年 ポリオ撲滅に対するロータリーからの寄付は総額約8億ドルになりました。1月にビル&メリンダゲイツ財団からロータリーがポリオ撲滅に2億ドルを寄付することを条件に3億5500万ドルの補助金を提供することを発表しました。その結果世界ポリオ撲滅推進活動に合計5億5500万ドルが寄付されることになりました。当クラブの内藤ガバナーの時5年間1人当たり50ドル寄付することが目標となりました。当クラブの3

人のガバナーの時多額なポリオ募金が課せられましたが不思議な縁です。

2011年 ロータリーからの寄付額は10億ドルを超えました。

2012年 インドで丸1年に亘りポリオ症例確認されなかったことを受け、同国がポリオ常在国から除外されました。常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国となりました。私は2013年3月にロータリーの雑誌の環太平洋の委員長、編集長会議のためインドのチェンナイに6日間滞在しました。そのときロータリーの地区大会に参加しました。メジャードナー1万ドル以上の寄付者20数名が表彰され、その晩の晩餐会で127名がその場で1000ドルの寄付をしていました。財団の管理委員長が同席し、ポリオのお礼とは聞きましたが、今思えばポリオの常在国から除外された事への感謝の気持ちからの行動であったのだと理解できます。

2014年 インドで3年間野生型ポリオウイルスによる新規症例が確認されなかったとしてWHOが東南アジア地域のポリオ撲滅を認定しました。ポリオ症例は1988年以来99.9%減少しました。

2019年 ナイジェリアで3年間症例なく撲滅が認定されました。

5. 感染リスクにさらされているのは

世界からポリオを根絶しない限り今後10年以内に世界の年間発症数は20万件に上ると予想されています。ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタンの2カ国ですが、ポリオの発症がどこかで起きている限り感染の危険は世界中の子どもに及ぶことになります。

6. ポリオを根絶する5つの理由

① 生活の向上

ポリオ根絶活動のおかげで身体麻痺とならずにすんだ人の数は2000万人、命を落とすことになかった人の数は150万人になります。

② 未来への投資

ポリオが根絶されなければ、今後10年間に毎年20万人の子どもが身体麻痺になる可能性があります。ポリオの根絶はすべての子どもたちのより健康な世界を作ることです。

③ 子どもの健康を向上

ポリオ根絶のサーベイランス（監視）や予防接種活動では、ビタミン欠乏やはしかといったほかの健康問題の検査も行われるため、いち早く対応できます。

④ 医療費の削減

世界的なポリオ根絶活動により1988年以来270億ドル以上の医療費が節約され2050年までにさらに140億ドルを節約できるとされています。

⑤ 歴史をつくる

ポリオが世界から根絶されれば天然痘に続いて2番目に根絶される疾病となり、歴史上で最も偉大な公共保健での達成の一つとなります。

以上長々と話しましたが、ロータリー財団そしてポリオについて少しでも理解いただければ幸いです。